

インフレが減速、9月の利下げが確実な状況

欧州経済

- 8月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は、五輪開催の効果もあってフランスの景況感が大きく改善したことなどから上昇した。
- 8月の消費者物価上昇率は前年比+2.2%と、7月の同+2.6%から大幅に低下した。4～6月期の妥結賃金の伸びも鈍化している。これらは物価安定が進捗していることを裏付ける材料であり、金融市場は、ECB（欧州中央銀行）が9月12日の政策理事会で利下げすることを確実視している。
- 7月の小売売上高指数はほぼ横ばいとなった一方、8月の消費者信頼感指数は悪化しており、個人消費は低迷が続いている。6月の建設活動は持ち直しに転じたものの、鉱工業生産は不振が続いている。
- 6月の利下げ後、銀行貸出は持ち直し始めている。9月に実施が予想される追加利下げにより、設備投資や耐久財消費などが後押しされることが期待される。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。



横浜銀行グループ

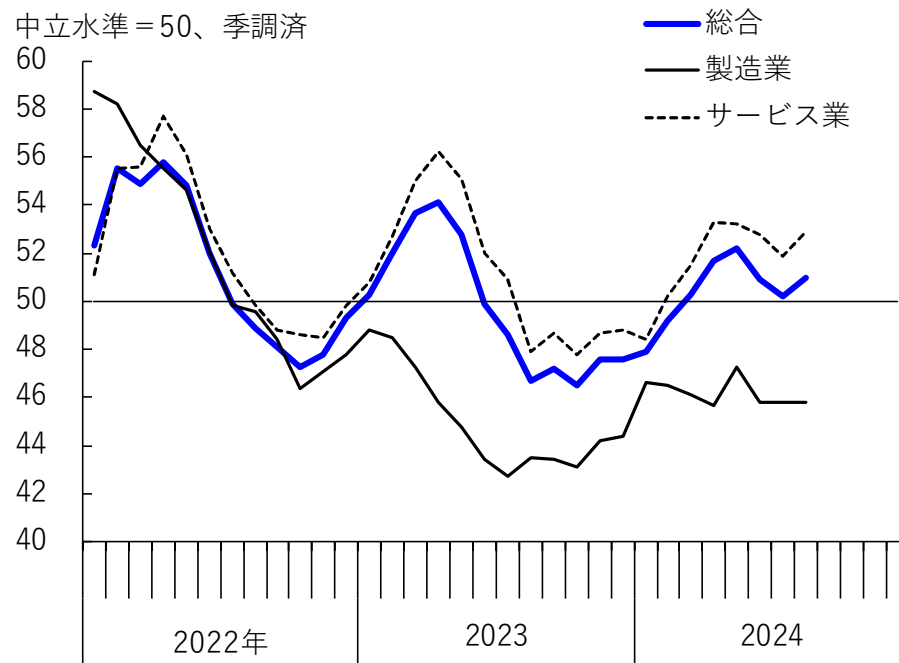
浜銀総合研究所



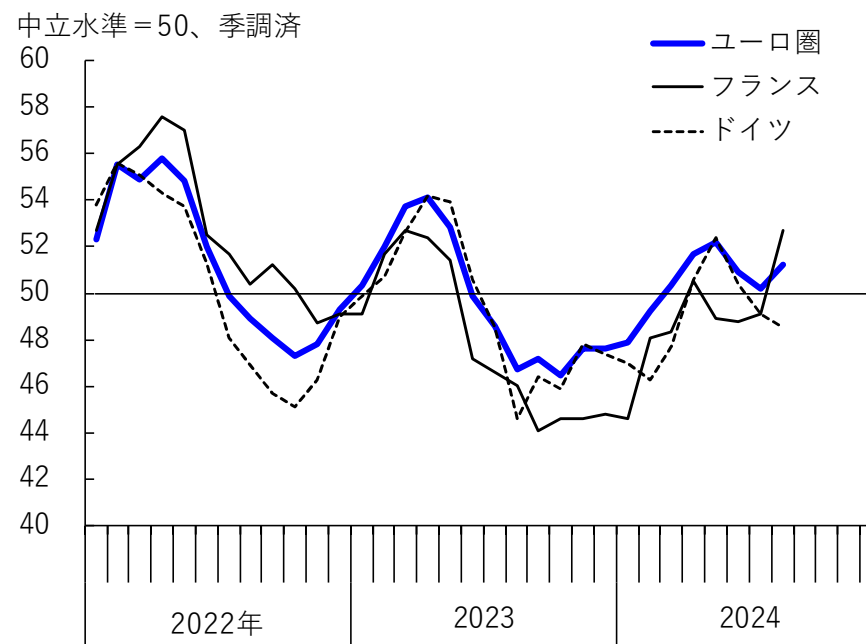
- 8月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は51.0と、7月の50.2から上昇した。製造業のPMIは45.8と、好不況の判断基準である50を下回った。サービス業は52.9と、前月の51.9から上昇した。
 - －8月の景況感の改善は、フランスの五輪開催による一時的効果である可能性が高い。
- 8月の各国別の総合PMIは、ドイツが48.4と前月の49.1から低下した。ドイツは製造業、サービス業ともにPMIが低下した。一方、フランスは五輪開催の効果を背景にサービス業のPMIが大幅に改善し、8月の総合PMIは53.1と前月の49.1から上昇した。

※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。

ユーロ圏のPMI

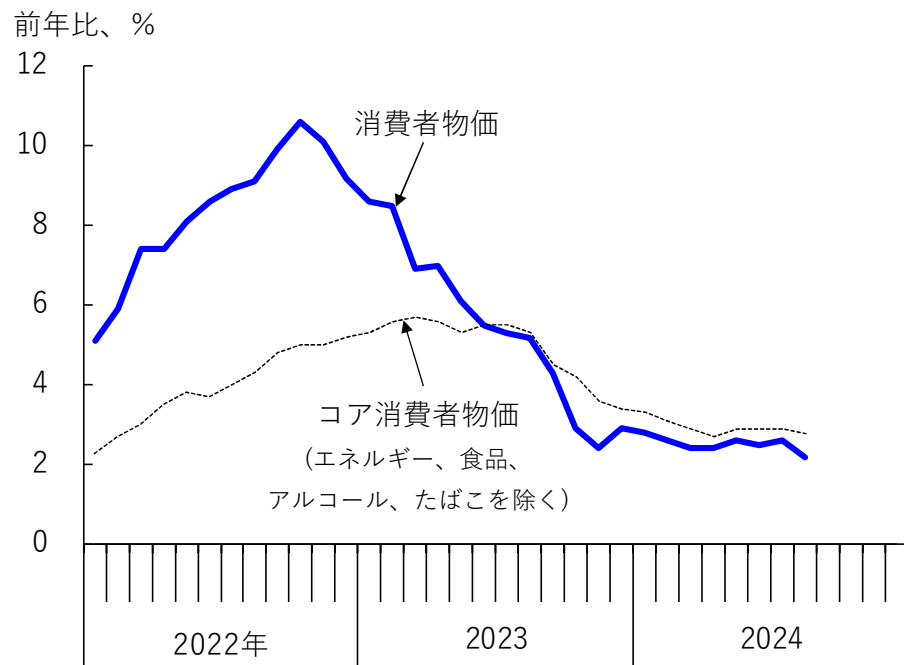


主要国のHCOB総合PMI



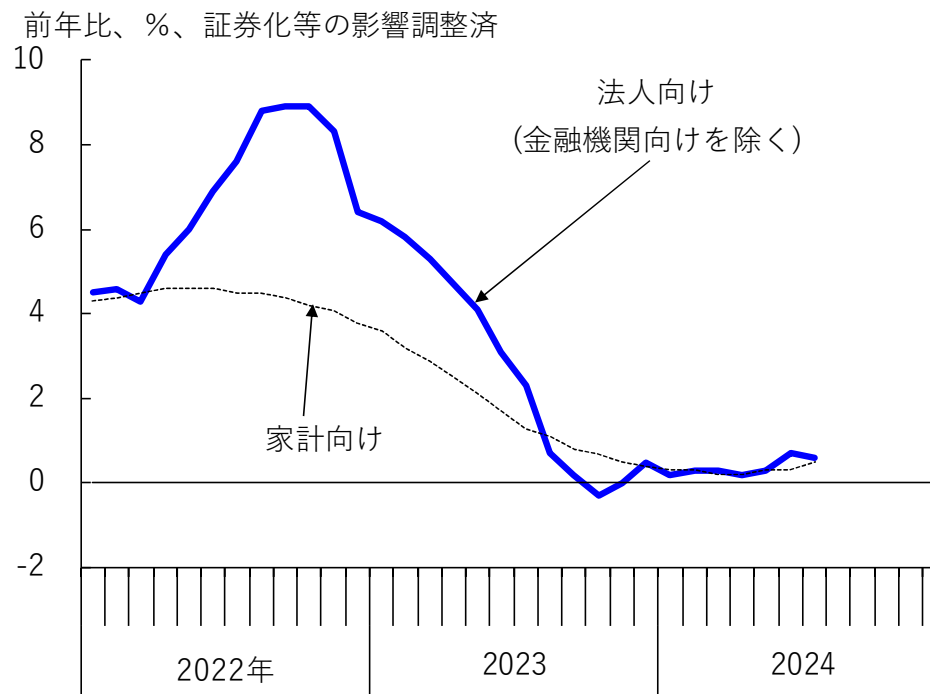
- 8月のユーロ圏消費者物価指数上昇率（速報値）は前年比+2.2%と、7月の同+2.6%から低下し、約3年ぶりの低水準となった。エネルギー、食品、アルコール、たばこを除くコア指数も同+2.8%と、前月の同+2.9%から低下した。
 - ー サービス物価の上昇率は五輪開催の影響などにより前年比+4.2%と前月の同+4.0%から一時的に上振れしたものの、インフレは基調的に減速しているとみられる。
- 7月のユーロ圏の貸出残高は、企業向けが前年比+0.6%と、前月の同+0.7%から伸びがやや低下した。一方、家計向けは同+0.5%と、前月の同+0.3%から伸びが加速した。
 - ー 貸出需要は、6月の利下げ効果により徐々に持ち直す方向にあると考えられる。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2024年8月は速報値。
出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏貸出残高

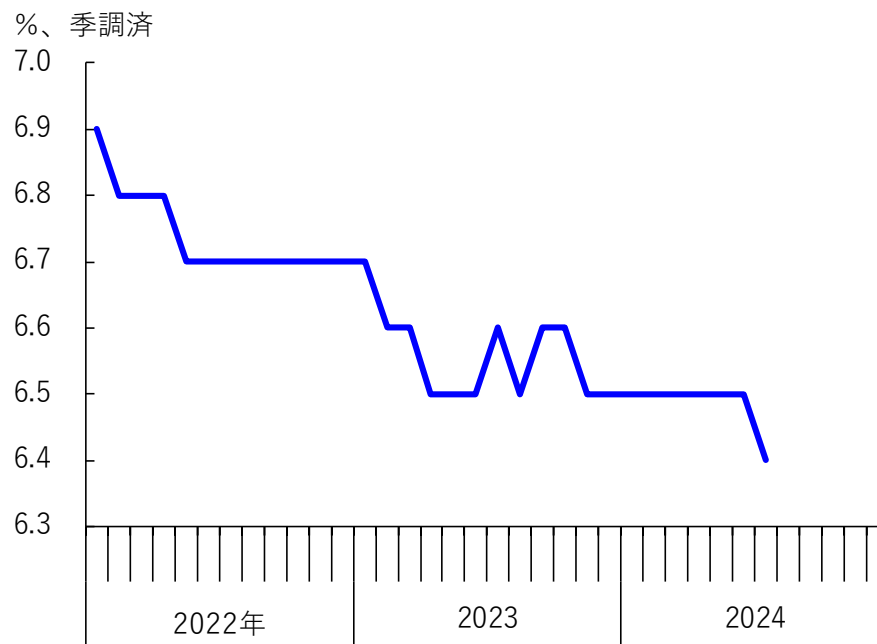


出所：欧州委員会統計局



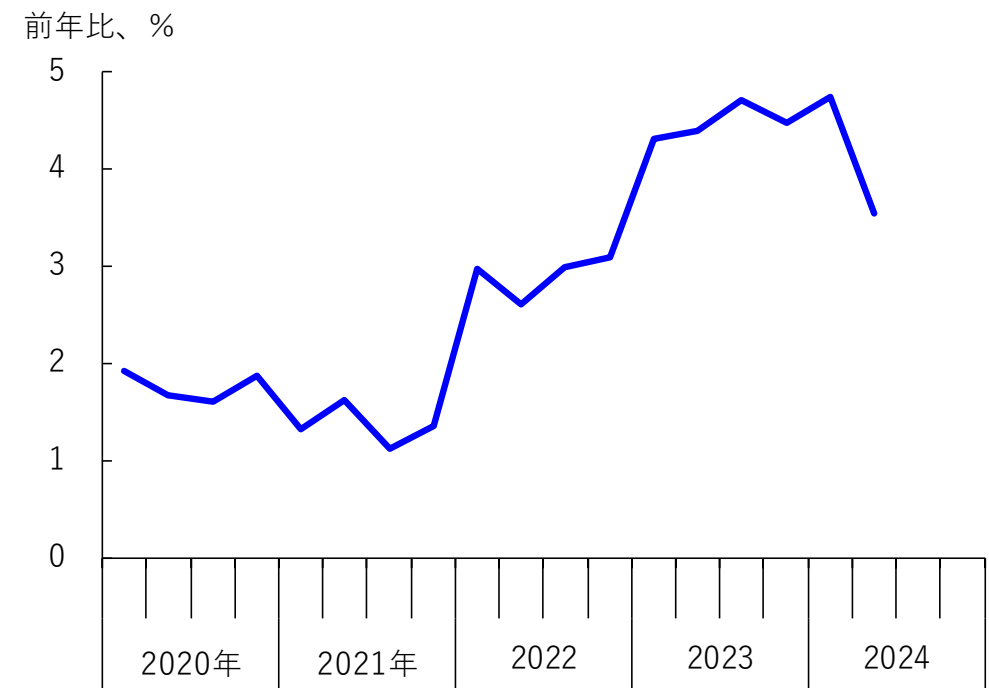
- 7月のユーロ圏の失業率は6.4%と、前月の6.5%から0.1%ポイント改善した。
 - ー ドイツやフランスの失業率は前月から横ばいだったものの、イタリアが0.4%ポイント改善した。
- 2024年4～6月期の妥結賃金は、前年比3.55%と、1～3月期の同4.74%から伸びが鈍化した。
 - ー 妥結賃金の伸びの鈍化は、欧州中央銀行の利下げを支援する材料となる。

ユーロ圏失業率



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏妥結賃金



出所：欧州中央銀行

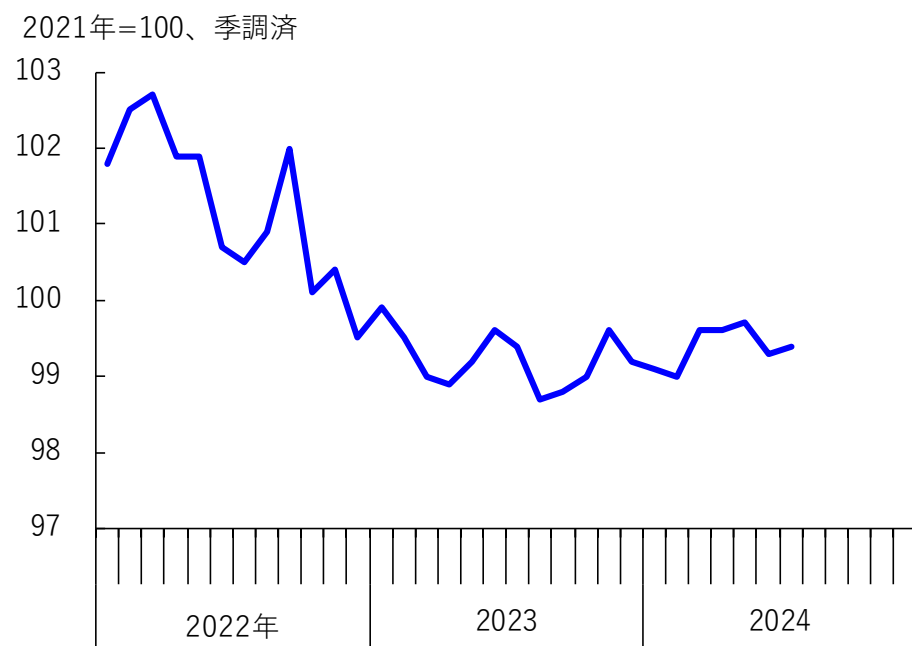
- 7月のユーロ圏小売売上高指数は前月比+0.1%とほぼ横ばいとなった。

ー6月に前月比-0.7%と落ちこんだ食品・飲料・たばこの支出が7月は同+0.4%と回復した。一方、自動車燃料の支出は同-1.0%と減少した。

- 8月のユーロ圏消費者信頼感指数は-13.5と、悪化に転じた。

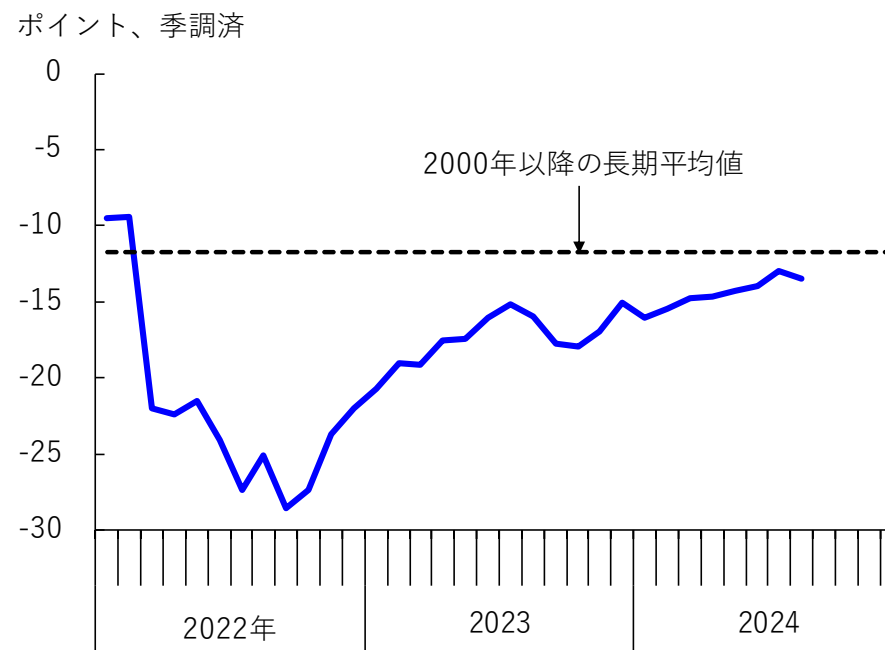
ー五輪が開催されたフランスの消費者信頼感指数は改善したものの、ドイツやイタリア、スペインの指数は軒並み悪化した。

ユーロ圏小売売上高指数



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数

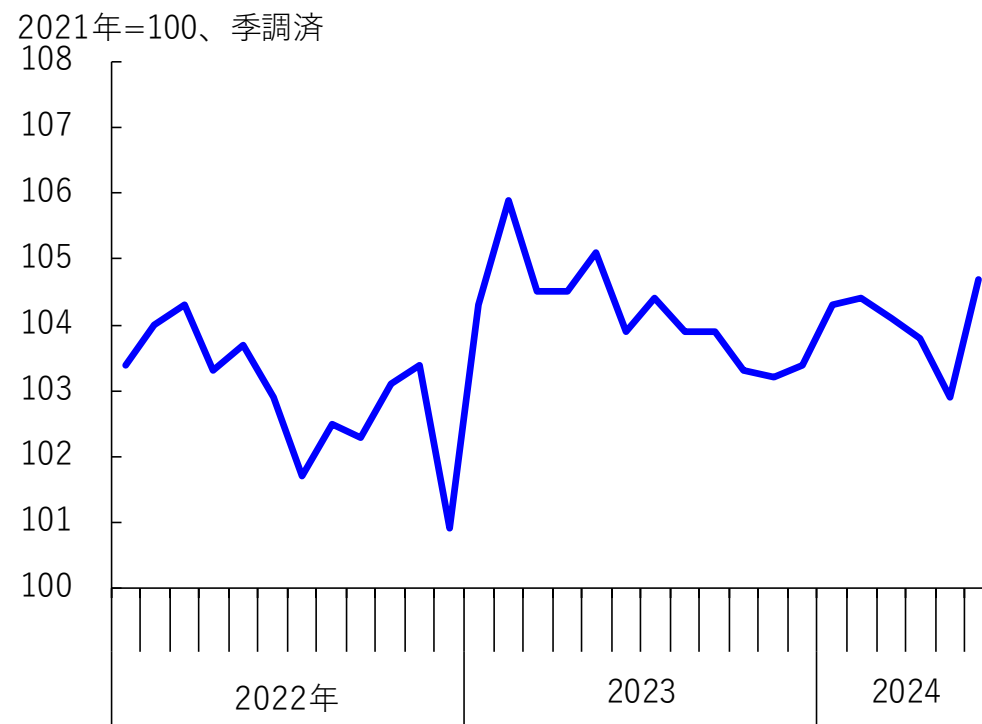


出所：欧州委員会



- 6月のユーロ圏鉱工業生産指数は前月比-0.1%と3か月連続で低下した。財別には耐久消費財や資本財、中間財の生産が増加したものの、非耐久消費財の生産が同-2.5%と大きく落ち込んだ。
 - ー 国別の指数をみると、季節調整の方法を変更したため最近の計数が大きく振れているアイルランドが、前月比-7.8%と大きく落ち込んだ。
- 6月のユーロ圏建設活動指数は前月比+1.7%と大幅に上昇し、4か月ぶりに持ち直した。
 - ー フランスが前月比+1.7%、スペインが同+0.4%、ドイツが同+0.3%と、主要国の建設活動指数は軒並み上昇した。

ユ一口圏建設活動指数

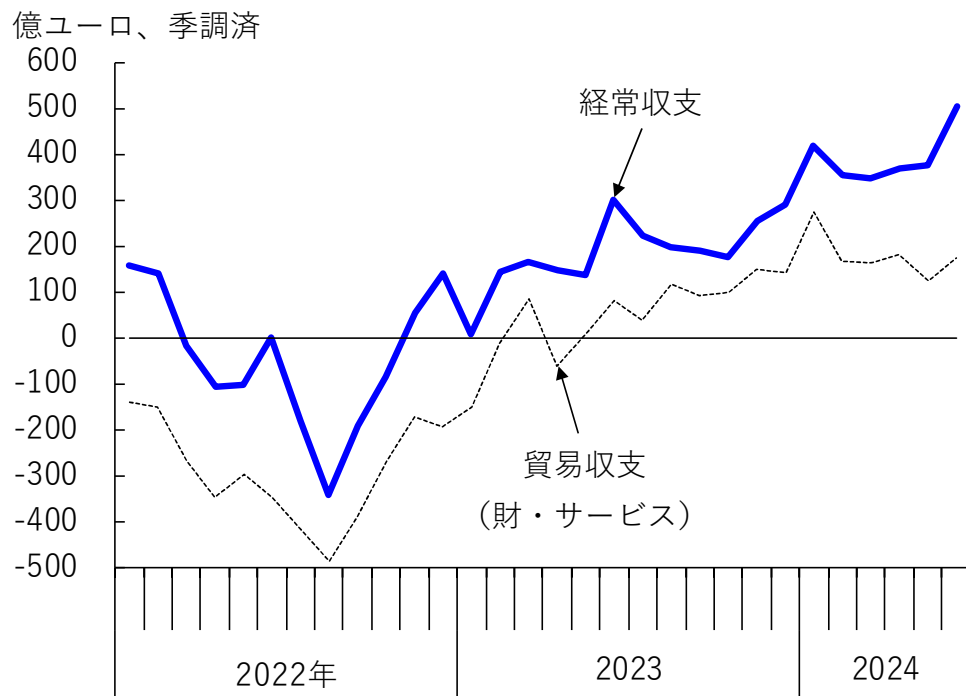


出所：欧州委員会統計局



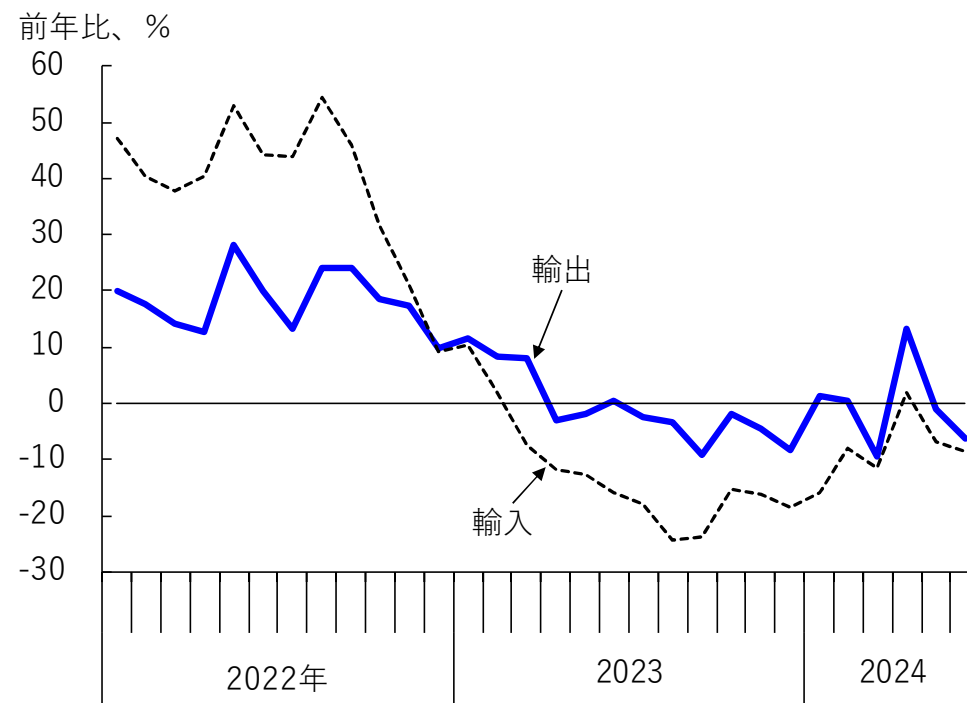
- 6月のユーロ圏の経常収支黒字（季調値）は505億ユーロと、前月の376億円ユーロから増加した。
 - 6月のユーロ圏の財の輸出（原数値）は前年比-6.3%、財の輸入は同-8.6%となった。
- ーユーロ圏対外貿易収支（原数値）は、223億ユーロと、5月の140億ユーロから増加した。

ユーロ圏経常収支



出所：欧州中央銀行、欧州委員会統計局

ユーロ圏の財の輸出入



出所：欧州委員会統計局



横浜銀行グループ

浜銀総合研究所



2024年9月11日
調査部 特任研究員
金子 修

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5